

日本経済論（第1回）

17.9.20

- はじめに：日本経済をみる目を養おう

（安孫子）

1. 講義の構造

日本経済の現状をバランスよく知るために、マクロ経済学の実証分析のほか、日本の各種制度についても、豊富なデータを用いながら理解を深めていきます。皆さんが社会に入って役に立つ日本経済の知識を身につけることを目標にしています。

講義の前半で実体経済について話した後、後半で金融と経済政策について説明します。

2. 実態経済面の講義計画（前半部分）

日本の経済成長率の推移	高度経済成長	日本の貿易構造の変化	アジア諸国の経済
長から時にはマイナスの低成長へ		発展の影響	
日本の景気循環と景気判断		日本の財政	国債（財政赤字）は富といえる
日本の景気指標		のか？	
日本の個人消費		日本の公共投資	
日本の家計貯蓄		日本の労働市場	
日本の住宅投資		日本の物価動向	
日本の企業投資		日本のエネルギー	
日本の企業間競争と企業行動		規制緩和を求める動き	
日本の産業構造の変化と地域間格差		デフレ経済	戦間期との比較

3. 自己紹介

以下のホームページを参照 <http://www.eco.kindai.ac.jp/abiko/>

経済学部ホームページからも繋がる（教員紹介のうち「経済学科」を選ぶ）

研究室はB館5階の5A、メールアドレスは abiko@msa.kindai.ac.jp

オフィスアワーは金曜日の2限目 ... 事前にメールでアポを取ること

授業の3分の2以上に出席していない学生や不真面目な答案是「不受」とします。

4. 参考文献

三橋規宏ほか『ゼミナール日本経済入門』日本経済新聞社、毎年度版

高月昭年著『金融の基本』（新版）日経文庫、2002年

このほか、毎回配布するレジュメの中でテーマごとの参考文献を適宜紹介する予定

5. 現代日本経済に関する情報の集め方

新聞、テレビ、雑誌、インターネット等の有効活用 ... ただし鵜呑みにはしないこと

- ・日本経済新聞、WBS（テレビ大阪）、週刊「東洋経済」、週刊「エコノミスト」などが有名
- ・インターネットでも、ニュースや経済時系列データを入手できる
- ・グラフを描くとデータを読みやすくなる パソコンのスキルを向上させる

6. 経済学と制度の関係

経済理論：力学にたとえると、真空状態での動きを考える・・・鉄も羽も同じ速度で落下

制度： " 摩擦や空気抵抗のようなもの・・・落下速度が異なる

両者を知らないと、現実を理解することは困難

【参考文献】：昨年度の「ハンティング・エピソード」31頁の拙論（HPにも掲載）
以上